



ある日の役者たちの自主練、略して「ある自」（拠点：東京、主宰：丹聡）は、初の有観客公演となる【ある日の役者たちの自主練プレミアム有観客「読書三余」】を2022年11月

26～27日に行い、2022年12月31日～2023年2月6日（予定）に収録映像を配信する。

コロナ禍における俳優業の不利を、Twitterのスペース機能を使い朗読をすることで利にしてきた「ある自」と、演劇×飲食店の間借り公演や演劇×ギャラリー公演、東京一香川二都市公演など、次々と企画を生み出す団体「たのしいくわだて」がタッグを組み、ある日の役者たちの自主練プレミアム有観客『読書三余』を上演。

これまでの「ある自」放送でタッグを組んだ作家（飯田太郎、栗栖ひよ子、黒木京也、小谷杏子、百百百、鷹樹烏介、馳月基矢、望月くらげ、山下泰昌、六畳のえる）による【全作書下ろし】。

タイトルの「読書三余」は中国の故事で、三余の【雨】【冬】【夜】からテーマを選んで作家陣に書いて頂き、お客様が公演後に「今夜は読書をしたいな」と思われるような、素敵な時間と空間づくりを目指す。また、書下ろし作品はアンソロジーになり購入も可。

会場は文学の街・神楽坂の光鱗亭ギャラリー。川端康成や三島由紀夫など数多くの作家の装丁を手掛けた、ギャラリーオーナーの祖父の雅号を冠している。

公演ヴィジュアルは新進気鋭のアーティスト・森川千寛。劇中では異才の左弾きギタリスト・村

山政太による生演奏に乗せて、丹聡、齊田貞子、嶋尾明奈、内田吉則、大塚由祈子、佐山知範、川越みほ、真宮ののか、光國裕大がおくる。各回50席の6回公演を予定。

---

Generated by ふれりりプレスリリース

<https://www.prerele.com>